

最優秀賞（内閣総理大臣賞）



『あそび大学』

特定非営利活動法人あそび研究会

【東京都】

子どもたちが主役となり、子ども自身が自発的に考え行動する視点が明確であり、それを支えるプログラムも完成度が高い。企業、大学、自治体、NPOの連携もよく、子どもたち自身が考え、つくり、選挙も行うなど多面的な取り組みがあり、最優秀賞にふさわしい。

優秀賞（経済産業大臣賞）

子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン部門

子ども部門



『BUNNY-HOP』

株式会社オージーケーカブト

【大阪府】

子どもの自転車用ヘルメットは安全性担保の面からとても重要だが、デザインと価格を両立して普及促進に貢献する点を高く評価した。第三者認証の安全基準を満たしており、カラーバリエーション、入手しやすい価格設定も含め、優秀賞にふさわしい完成度である。

一般部門



『Nasta Box + POST』

株式会社ナスタ

【東京都】

複数の投函口を設けているため、2個目以降の荷物でも対面せず安全に受け取れる。投函口にはガード機能がついており安全性や盗難防止の配慮もある。一般家庭向け製品であり、時代の要請に沿った作品である点を鑑み、優秀賞に選出した。

子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン部門

クリエイティブ部門



『福井県立恐竜博物館新館「化石研究体験」』

福井県立恐竜博物館 / 株式会社丹青社 / 株式会社黒川紀章建築都市設計事務所

【福井県】

科学体験は多くのミュージアムの事例があるが、専門研究と同等の機器や環境を使って体験ができる価値は大きい。本物に触れることで深い学びを得る環境づくりにつながっていく。体験プログラムとアクションを誘発するデザインのクオリティが高い作品である。

リテラシー部門



『微妙な違いを視覚や触覚で見抜く「感覚ゲーム」』

ちよつとづつ違う

【神奈川県】

厚さを指で感じる、1ミリ違いのカードの大きさを見分けるといった、これまでにない遊び方、感覚器の使い方に新規性がある。視覚や言語に縛られがちなカードゲームの固定概念を覆す、身体性を伴う重要なアプローチである。コンセプトも含めて良質であり、優秀賞とした。

優秀賞（消費者担当大臣賞）

子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン部門

消費者育成部門



『キッズフリマ』
特定非営利活動法人キッズフリマ
【東京都】

売買という行為を通じて、ビジネスの成り立ち、消費の構造、お金の使い方など、消費者教育に必要な多様な学びにつながる活動である。実績も素晴らしく、規模、クオリティ、ルール作り、プログラムも優秀であり、自主性の育成も含め本賞にふさわしい。

優秀賞（こども政策担当大臣賞）

子どもたちを産み育てやすいデザイン部門

地域・社会部門



『ゆりのき保育園』
株式会社SN Design Architects
【静岡県】

中庭を囲むように分棟型にすることで、棟の間からも外部が見え開放感がある。諸室は子どもの身体スケールに調和しつつ、伸びやかな育ちを促してくれるだろう。印象的なシルエットは地域のシンボルにもなり、街に溶け込みながらもその存在は際立っている。

優秀賞（こども政策担当大臣賞）

子どもたちを産み育てやすいデザイン部門

個人・家庭部門



『手動鼻吸引器 SHUPOT-pump』
ビジョン株式会社
【東京都】

子どもを片手で支えながら鼻水吸引の作業ができ、ハンディでモバイル性にも富んでいる作品である。力の加減で吸引力も微調整ができ、安全性にも配慮がある。もっとも重要な衛生面では、シンプルな構成でパーツは6つ、簡単に洗浄可能な点も優秀である。

優秀賞（男女共同参画担当大臣賞）

子どもたちを産み育てやすいデザイン部門

男女共同参画部門



『誰でも使いやすい 座って囲める「キッチンテーブル」』
積水ハウス株式会社
【大阪府】

働き方の多様化、在宅ワークなどフレキシブルな時間の使い方は時代の要請に応える一方で、家族が同じ空間で共に時間を過ごす機会を減らしている。食というテーマを通じ家族が時間を共有する、場を囲む、その重要性をハードから提案している点が素晴らしい。

奨励賞（キッズデザイン協議会会長賞）

子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン部門

子ども部門



『グラフィックジュニア』
株式会社グラフィック
【福井県】

子どもが活発に動き回れることと、頑丈さや装着感のやさしさを両立させるため、素材から見直した開発姿勢に共感した。高耐久素材ゆえにフレーム自体を薄くすることができ、形もすっきりした。安全性への配慮もあり、本格的でありながら子どもの成長に寄り添った作品。

子ども部門



『自然に還るグラウンドポイント』
株式会社エバニュー

【東京都】
グラウンドポイントは従来、金属の釘に目印のひも等を付けたものが多く、校庭に埋まっていた釘で児童が脚にけがを負う事故が実際に発生している。グラウンドの利用に関する安全性に着目した例は少なく、新たな素材の採用で事故防止を実現した点から本賞とした。

子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン部門

一般部門



『乳幼児用ショッピングカート「Combi エンジェルワゴンAW5/6シリーズ」』
コンビウイズ株式会社
【東京都】

子連れでの買い物や移動はこれまでも社会課題として取り上げられてきた。ショッピングカートという、シェアリング製品における安全、安心の工夫はその点からもとても重要である。乳児から4歳児まで対応年齢も広く、子育て層に利便性と安全をもたらすものだ。

一般部門



『転倒お湯もれ防止構造つき 蒸気レス電気ケトルPCV型』
タイガー魔法瓶株式会社
【大阪府】

転倒時のお湯漏れによって乳幼児がやけどをする事故を防ぐため、転倒止水の構造を採用している。それに加え、蒸気そのものを外に出さないという徹底した安全性への配慮がよい。短時間でお湯が沸く利便性と事故防止を両立させるための継続的な開発姿勢を高く評価した。

子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン部門

クリエイティブ部門



『小さな問いを育てよう！4歳からのクリエイティブスクール アートデザインラボ』
ベイビートイ / 株式会社レイン / 合同会社シタケダ
【東京都】

「好きを見つける」という明確なテーマ性があり、非常に多くの素材から自分が使ってみたいものや、自分たちがなりたいものを探っていくためにアートを活用している、意欲的な取組だ。ファシリテーターに現役の専門家がおり、全体的にデザインの質が高い。

クリエイティブ部門



『さくらんぼこどもキャンパス「CLAAPIN SAGAE」』
羽田・NIIZEKI特定設計業務共同体 / 高木・シェルター特定建設工事
共同企業体
【山形県】

地域がら冬場は雪が深く、屋外で遊ぶ場所が少なくなるため、屋内遊び場のニーズは高い。外観形状も特徴的で内部も広く、子どもたちが自由に遊び回れる場所として各装置がうまく配置されている。自分の居場所をみつけ、各々の遊びが選べる点を高く評価した。

奨励賞（キッズデザイン協議会会長賞）

子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン部門

リテラシー部門



『ナーディーダービー』
株式会社デジタルファブ리케이션協会 / ファブラボ神田錦町
【東京都】
デジタル全盛の時代だからこそ、素材と向き合い、自らの手で進化させていく楽しさが貴重である。大人も子どももいっしょになって遊べる点もよい。デジタルファブ리케이션を活用してデザインを共有しながら地域ごとで開催も可能だ。

リテラシー部門



『特別支援学校での共創アートワークショップ「みんなであつろう！千人おどり」』
特定非営利活動法人チア・アート / 茨城県立下妻特別支援学校
【茨城県】
子どもたちの理解を深めるとともに、ファシリテーターやサポーターとして、地域、先生、親も関わっている点は、本来の協働の意味を体現する活動として評価したい。インクルーシブ教育が求められるなか、よりクリエイティブな実践として良質な作品である。

子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン部門

消費者育成部門



『ポケマルこども食育クラブ』
株式会社雨風太陽
【岩手県】
生き物を食するというテーマに関して、真摯に取り組んだ完成度の高いプログラムである。地方留学では実際に生産者に会えて、それが継続的に実施されている。都市の子どもと生産者が結びつくことで、生産者側のモチベーションアップにも寄与することが期待される。

消費者育成部門



『こどもけんちく教育プログラム』
学校法人柏学園松葉幼稚園 / 株式会社時設計 / 広島建設株式会社
【千葉県】
1年間を通じて家づくりのプロセスを学び、工事がどのように進むかを理解し、人に伝える。子どもが自分が通う園舎の成り立ちを知ることで、その魅力や苦勞までも友達と共有することが可能となり、愛着もわくはずである。建築の現場を地域に開く良質な取組である。

子どもたちを産み育てやすいデザイン部門

個人・家庭部門



『性とからだところを知るカード』
株式会社フェリシモ gokigen Lab.
【兵庫県】
男女の体の違い、どうやって子どもが生まれるのか、といったことに対して興味・疑問を持ち始めた時期から使えるコミュニケーションツールである。柔らかなイラスト表現でありながら、子どもっぽくなりすぎないクリエイティビティが秀逸だ。

個人・家庭部門



『娘のためにまず選びたいブラ』
株式会社ワコール
【京都府】
ワンサイズというアイデア、パッドの入れ方、ストラップの調整など、若年層の肌への刺激に配慮し、締め付け具合についても、自社のノウハウ、技術を使って丁寧にデザインしている。自分の身体と適したサイズを知ることが難しい成長期にフォーカスした良品である。

奨励賞（キッズデザイン協議会会長賞）

子どもたちを産み育てやすいデザイン部門

地域・社会部門



『リーフィア狛江 蒼翠の街』
小田急不動産株式会社
【東京都】

各戸の敷地の一部に地役権を設定し、共用部として活用するだけでなく、各戸が積極的に共用部に向き合う形で設計されている。中央で子どもたちが遊んでいる姿がどの家からも見え、安全性の向上に寄与している。外構を植栽にするなど随所に工夫が見える。

地域・社会部門



『キッズドクター』
株式会社ノースター
【東京都】

身近に相談やサポートをお願いできる人がいない子育て層は子どもの病気に対して不安がある。なかでも病弱な子どもや障がい児のいる家族にとってはありがたいサービスであろう。緊急性の高さに応じたパターンも用意されており安心感をもたらす取組である。

子どもたちを産み育てやすいデザイン部門

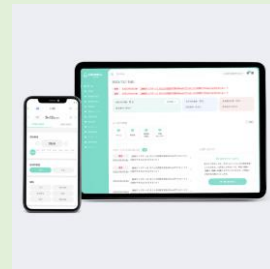
男女共同参画部門



『保育マッチングサービスmitete』
株式会社Connect
【東京都】

一時保育の選別や予約は親にとっては大変な作業であり、通常は個別に保育園に登録をして空きを確認するなどの手間がかかる。本作品は登録を済ませば事業者の代行により、面談も最小限で済む。時間の拘束から解放される安心感があり、本賞としての評価に値する。

男女共同参画部門



『児童発達支援・放課後等デイサービス向け保護者連絡アプリ「コノベル」』
VISH株式会社
【愛知県】

施設へ来所する際の利用予定表の回収など、いわゆるバックヤードの作業負担の多さから、本来最も重要な療育の時間が削られてしまう問題に着目したサービスで、現場、療育を必要とする子ども双方にとって有益である。基本機能は無償提供されており誰でも使うことができる。

特別賞（審査委員長特別賞）

子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン部門



『APW 331/APW 431 サポートハンドル サポート引手』
YKK AP株式会社

【東京都】

握りやすいハンドルグリップの形状や、後から取り付けが可能といった利点もあり、ユニバーサルデザインの視点を持ちつつ、より操作性を高めている。子どもを抱っこしている際に洗濯物を取り込みたい時などのシーンのほか、力の弱い高齢者などにとっても有効だ。



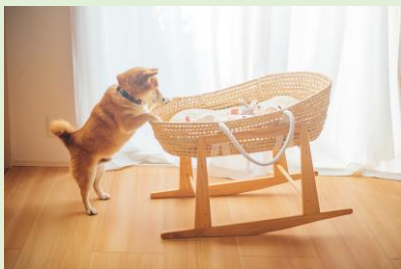
『Codomo』

Adora株式会社

【東京都】

スマートフォンを子どもに与えてあげたいが、ネガティブ情報やネット犯罪の現状はやはり親を躊躇させる。使い過ぎ防止や見守りマップ、昨今事件も起きているわいせつ自撮り画像対策など、安心なIT時代の到来に向けたさらなる進化に期待して選出した。

子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン部門



『For PET # 子どもと育つ、家族で育む』

株式会社LIXIL住宅研究所

【東京都】

屋内でペットを飼っている家庭は増えており、子どもや家族とペットの共生に特化した提案。触れ合いの重要性とともに、ペットに優しい家は子どもたちにとっても安全な家であるというユニークな視点を持った量産住宅の設計コンセプトを評価し、特別賞に選出した。



『子どもの身体活動からみた園庭園舎デザイン検証プロジェクト』

株式会社ミサワホーム総合研究所 / ミサワホーム株式会社 / 早稲田大学スポーツ科学学術院 鳥居研究室 / 早稲田大学スポーツ科学学術院 石井研究室 / 社会福祉法人わかたけ福祉協会わかたけ保育園

【東京都】

調査研究分野で重要なことは設計の視点と仮説の立て方、エビデンスの収集・分析と知識化である。その点において本作品はレベルが高い。雨の日の屋内活動量に関するデータは、例えばコロナ禍のような状況や猛暑下での屋内活動促進の空間設計に資するものである。

子どもたちを産み育てやすいデザイン部門



『フォスタリングカードキット「TOKETA」』

一般社団法人福祉とデザイン / 九州大学 田北雅裕 / UMA/design farm

【福岡県】

これまでこうしたツールが存在しなかったこと、それがもっと世の中に必要であることに気づかせてくれた、社会的提案性が高いツール。子どもの権利擁護のなかでも子どもの自発的な発言・行動は重要視されているが、具体的なツールに落とし込まれたことは意義深い。



『小さなカルチャーセンター PUBLICO』

株式会社タンタブル / 国土館大学理工学部理工学建築学系大井鉄也研究室

【東京都】

これからの建築は与えられた価値を形にするだけでなく、自らが欲しい空間を作り、使い、更新していく、関わり方のデザインが重要になる。それを体現したのが本作品であろう。建築物としての完成形ではなく参画のモデルとしての空間づくりとして特別賞とした。

特別賞（東京都知事賞）



『まもるんるん』
中西産業株式会社
【東京都】

少しの時間でも目を離した際に幼児がベランダへ出て事故に遭うケースも多い。新たに子どもが生まれた家庭に後付けで取り付け可能なため、安全性は確実に高まる。ベランダからの転落事故に対する問題意識を感じさせる、生活者の視点が本賞にふさわしい。

特別賞（TEPIA特別賞）



『BOCCO emo「こども生活習慣サポート」』
ユカイ工学株式会社 / 東京家政大学 / 東京ガス株式会社 都市生活研究所
【東京都】

食育や生活習慣だけでなく、昨今の学びに必要な省エネ行動や対人コミュニケーションといった領域にもコンテンツを拡充している点に新規性がある。行動科学の知見を活用し、これからのIT技術と人間の交流を身近に体得できる点から本賞にふさわしいと評価した。